

めだかの学校（平成29年7月開校）

◇どんな池だったの

学校の中庭に1坪ほどの四角い池があります。作られてからかなり長い年月が経過していると思います。水は濁り、水深の半分近くまで泥が貯まっていた。泥の中には睡蓮の根がはびこり、オオカナダモが泥に埋もれながら何とか生き延びていました。肝心の魚は、小さなフナやフナキンが時々姿を現していました。



◇再生プロジェクト

平成29年度の夏、中庭の整備をいていた教頭と主幹から、この池でメダカを増やせないかという話が出ました。



夏休みに入って、子どもの声が学校からなくなった日に、二人は動き始めました。小さな池でしたが、中に貯まった泥は半端な量ではありませんでした。一輪車で何回も運び出しました。夏の暑い日差しの下での作業でしたので、全身汗だくになってしまいました。泥がなくなった池は深緑色の

藻がびっしりと繁茂していました。その掃除がもっと大変でした。

丸一日がかりの掃除も終わり、池に水を張り、澄んだ水を眺めることが出来たときには、1日の疲れも吹き飛んだようです。

◇今はどうなっているの

池の中は少しずつ藻が生え緑色になってきましたが、水は透き通ったままです。掃除直後にこの池で産まれたメダカも少しずつ大きくなり、池もだんだん賑やかになってきました。瀕死の状態だったオオカナダモは元気に育ち、最近では毎日花をつけています。間引きした睡蓮も元気に育っています。



時々、メダカの群れをのんびり眺めている子ども達の姿を見ることが出来ます。